



**雇用、労働・本市の働き方改革・  
教育現場の雇用、労働について**

**企業誘致や現有企業支援について**

**問** 民間企業は生き残りをかけ製造・物流拠点計画を立てている。大きくしたい企業や既存企業、新規企業への支援策はどうか。

**答** 緑地面積緩和を行い、工場拡張の可能性を広げました。企業誘致推進プロジェクトチームでも様々な支援が出来るよう、用地確保のあり方等を検討します。

**本市の働き方改革について**

**問** 通勤費や期末手当等、正規と非正規の諸手当の違いはどうか。

**答** 非正規職員に対する諸手当は、現在支給されていません。

**問** 諸手当が支払われない現状をどのように考えているのか。

**答** 非正規職員の処遇につきましては、経済情勢や近隣自治体の動向、同一労働同一賃金の概念と併せて検討していきます。

**問** 会計年度任用職員制度の条例化のスケジュールはどうか。

**答** 服務規定の整備や手当の給付



分譲用地のない安中工業団地

額、給付に係わる条例整備が考えられます。制度施行は平成32年であるため、平成31年に制度の周知や任用募集を実施し運営に支障がないよう近隣自治体の動向も踏まえ、検討実施します。

**教職員の働き方改革について**

**問** 長時間労働の教職員への医師の面接指導体制はどうか。

**答** ストレスチェックの実施を予定し、高ストレス者には、市の指定医師の面接指導が受けられるよう、準備を進めていきます。

**総務文教常任委員会行政視察報告**

総務文教常任委員会は、平成30年5月23日から25日までの日程で、北海道北見市「道の駅管理運営事業」、網走市「学校支援地域本部事業」の行政視察を行いました。

北見市の留辺薬自治区にある道の駅「おんねゆ温泉」は、主に、高さ20mの世界最大級のからくり鳩時計、地元特産品の販売所、クラフト体験や木製遊具で遊べる施設、日本初の滝つぼ水槽や世界初の川が凍る水槽などを見学できる水族館で成り立っています。

特に「山の水族館」は、老朽化による建替えの時に、水族館で有名な中村元氏をプロデューサーに迎え、少ない予算でも「明確なコンセプト」と「話題作りによるメディアの活用」に力を入れることで、目標を大きく上回る入館者数を、今も達成しています。近年の道の駅は、民間的発想のもと創意工夫をしなければ生き残れない厳しい時代だと感じました。



道の駅管理運営事業について学ぶ(北見市)

網走市の「学校支援地域本部事業」とは、学校の色々な活動を市民のボランティアで支える事業です。活動内容は、読み聞かせ、水泳やスケート教室、地引網体験、部活動指導、登下校見守り、夏休み学習サポート、ものづくり体験など、その他にも多くの支援を行っています。特に先生方の、時間的・精神的な負担の軽減に大きな効果があり、昨今社会問題になっている教職員の労働環境の改善にとっても有効な事業だと思いました。

●会計年度任用職員制度…地方公共団体の行政需要の多様化に対応し、一会計年度を超えない範囲内で置かれる非常勤の職が定義されたもの。服務に関する規定が適用され、手当が支給されることとなる。